

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-313190

(43) 公開日 平成11年(1999)11月9日

(51) Int.Cl.⁹

H 0 4 N 1/00

G 0 6 F 13/00

識別記号

1 0 7

3 5 1

3 5 4

F I

H 0 4 N 1/00

G 0 6 F 13/00

1 0 7 A

3 5 1 G

3 5 4 Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-134505

(22) 出願日 平成10年(1998)4月28日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 佐藤 幸紀

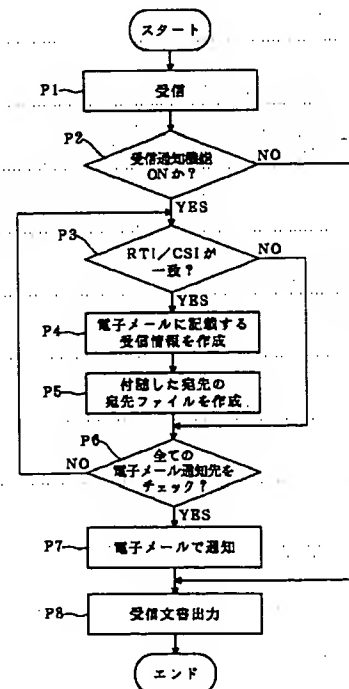
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】本発明は受信画情報の一部を付加した受信した旨の電子メールを受信先の端末装置に送信するファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】ファクシミリ装置は、着信があると、ファクシミリ受信を行い、受信画像データを一時RAMに蓄積するとともに、ファクシミリ受信処理で相手ファクシミリ装置から送信されてくるRTI/CSIを取得して、RAMに記憶する。ファクシミリ装置は、受信通知機能がオンに設定されていると、受信したRTI/CSIに一致するRTI/CSIに対応してRAMの受信通知関連情報記憶領域に登録されている全ての電子メールアドレス宛に、受信画情報の一部を付加した電子メールファイルを作成し、当該作成した電子メールファイルを登録されている電子メールアドレス宛に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】所定の通信回線によりファクシミリ制御信号を交換して所定のファクシミリ通信手順により画情報のファクシミリ受信を行うとともに、複数の端末装置の接続されたネットワークとのインターフェースを有し、当該インターフェースを介して前記端末装置に電子メールを送信可能なファクシミリ装置において、ファクシミリ受信の送信元を特定する所定の送信元情報と前記端末装置の電子メールアドレスとを対応させて記憶する電子メールアドレス記憶手段と、前記ファクシミリ制御信号から前記ファクシミリ受信の送信元情報を取得して、当該送信元情報に対応して前記電子メールアドレス記憶手段に登録されている前記電子メールアドレス宛にファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信するとともに、当該ファクシミリ受信で受信した前記画情報の一部を当該電子メールに付加する制御手段と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】前記電子メールアドレス記憶手段は、前記1つの送信元情報に対して前記電子メールアドレスを複数登録可能であり、前記制御手段は、前記受信した送信元情報に対応して当該電子メールアドレス記憶手段に登録されている全ての電子メールアドレス宛に前記画情報の一部を付加した電子メールを送信することを特徴とする請求項1記載のファクシミリ装置。

【請求項3】前記電子メールアドレス記憶手段は、前記電子メールアドレス毎に複数の前記送信元情報を登録可能であり、前記制御手段は、当該電子メールアドレス記憶手段に前記ファクシミリ受信の送信元情報の登録されている全ての電子メールアドレス宛に前記画情報の一部を付加した電子メールを送信することを特徴とする請求項1または請求項2記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置に関し、詳細には、ネットワークに接続され、ファクシミリ受信があると、当該ネットワークに接続された端末装置にファクシミリ受信通知を電子メールで行うファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ファクシミリ装置においては、原稿の画像を読み取る読取部、相手ファクシミリ装置との間でファクシミリ制御信号と画情報をファクシミリ通信する送受信部、受信した画情報を記録紙に記録出力する記録部及び各種動作の指示操作を行う操作部等を備え、1つの独立した機器として機能している。

【0003】このような独立した機器としてのファクシミリ装置においては、ファクシミリ受信があっても、ファクシミリ受信音を拡声出力させることはできるが、ファクシミリ受信した画情報を記録紙に記録出力するようになっていただけであるため、ファクシミリ装置が人か

ら離れた場所に設置されていると、ファクシミリ受信があったことが分からず、ファクシミリ受信の内容が緊急性を要するものであっても、速やかに対応することができない場合があった。

【0004】そこで、本出願人は、先に、LANに接続するインターフェイスを備え、回線を介して相手ファクシミリ装置から着サブアドレスを指定したファクシミリ受信を行うと、当該着サブアドレスで指定されたLANに接続されたワークステーション等に着信があった旨を通知するファクシミリ装置を提案している（特開平8-111688号公報参照）。

【0005】また、従来、不特定多数のファクシミリ装置から送信されてくる画像データの先頭に付加されている送付票に記入されている発信者名及び受信者名を含む文字画像データを文字認識して、当該受信者名から当該ファクシミリ受信の受取者の使用している端末装置を特定し、当該端末装置にファクシミリ受信があった旨をメールで通知するファクシミリ受信データメールシステムが提案されている（特開平9-18629号公報参照）。

【0006】さらに、本出願人は、ネットワークに接続するインターフェイスを備え、ファクシミリ受信時、当該ファクシミリ受信が親展であるか等の受信種別をファクシミリ制御信号により判別して、ネットワークに接続された複数のワークステーションのうち、当該ファクシミリ受信の宛先に対応するワークステーションにネットワークを介して受信種別を付加したファクシミリ受信があった旨を通知する受信通知情報を送信するファクシミリ装置を提案している（特開平7-66957号公報参照）。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のファクシミリ装置等にあつては、ファクシミリ受信があった際のファクシミリ装置の利用性を向上させる上で、なお、改良の余地があった。

【0008】すなわち、特開平8-111688号公報及び特開平9-18629号公報記載のファクシミリ装置やファクシミリ受信データメールシステムにあつては、ファクシミリ受信があった場合、当該ファクシミリ受信があった旨をネットワークに接続された当該ファクシミリ受信の受信者の使用する端末装置に通知することはできるが、どのような内容のファクシミリ受信があったのかが分からず、ファクシミリ装置の利用性を向上させる上で、なお、改良の必要があった。

【0009】また、上記特開平7-66957号公報記載のファクシミリ装置は、親展受信等の受信種別を受信人に通知することはできるが、受信内容を知ることができず、どのような内容のファクシミリ受信があったのかが分からず、ファクシミリ装置の利用性を向上させる上で、なお、改良の余地があった。

【0010】そこで、請求項1記載の発明は、ファクシミリ受信の送信元を特定する所定の送信元情報とネットワークに接続された端末装置の電子メールアドレスとを対応させて予め電子メールアドレス記憶手段に登録し、ファクシミリ受信時、ファクシミリ制御信号からファクシミリ受信の送信元情報を取得して、当該送信元情報に対応して電子メールアドレス記憶手段に登録されている電子メールアドレス宛にファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信するとともに、当該ファクシミリ受信で受信した画情報の一部を当該電子メールに付加することにより、ファクシミリ受信があると、当該ファクシミリ受信した画情報を受け取るべきユーザの端末装置に受信画情報の一部を付加したファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信して、どのような内容のファクシミリ受信があったかがユーザに分かるようにし、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、利用性の良好なファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0011】請求項2記載の発明は、電子メールアドレス記憶手段に、1つの送信元情報に対して電子メールアドレスを複数登録可能とし、当該登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信することにより、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合にも、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにし、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、より一層利用性の良好なファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0012】請求項3記載の発明は、電子メールアドレス記憶手段に、電子メールアドレス毎に、複数の送信元情報を登録可能とし、ファクシミリ受信の送信元情報の登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信することにより、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合であって、ユーザの数よりも相手先(送信元)の数の方が多い場合にも、電子メールアドレス記憶手段の記憶容量を少なくしつつ、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにし、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、より一層利用性の良好なファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0013】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明のファクシミリ装置は、所定の通信回線によりファクシミリ

制御信号を交換して所定のファクシミリ通信手順により画情報のファクシミリ受信を行うとともに、複数の端末装置の接続されたネットワークとのインターフェースを有し、当該インターフェースを介して前記端末装置に電子メールを送信可能なファクシミリ装置において、ファクシミリ受信の送信元を特定する所定の送信元情報と前記端末装置の電子メールアドレスとを対応させて記憶する電子メールアドレス記憶手段と、前記ファクシミリ制御信号から前記ファクシミリ受信の送信元情報を取得して、当該送信元情報に対応して前記電子メールアドレス記憶手段に登録されている前記電子メールアドレス宛にファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信するとともに、当該ファクシミリ受信で受信した前記画情報の一部を当該電子メールに付加する制御手段と、を備えることにより、上記目的を達成している。

【0014】上記構成によれば、ファクシミリ受信の送信元を特定する所定の送信元情報とネットワークに接続された端末装置の電子メールアドレスとを対応させて予め電子メールアドレス記憶手段に登録し、ファクシミリ受信時、ファクシミリ制御信号からファクシミリ受信の送信元情報を取得して、当該送信元情報に対応して電子メールアドレス記憶手段に登録されている電子メールアドレス宛にファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信するとともに、当該ファクシミリ受信で受信した画情報の一部を当該電子メールに付加するので、ファクシミリ受信があると、当該ファクシミリ受信した画情報を受け取るべきユーザの端末装置に受信画情報の一部を付加したファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信して、どのような内容のファクシミリ受信があったかがユーザに分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置の利用性を向上させることができる。

【0015】この場合、例えば、請求項2に記載するように、前記電子メールアドレス記憶手段は、前記1つの送信元情報に対して前記電子メールアドレスを複数登録可能であり、前記制御手段は、前記受信した送信元情報に対応して当該電子メールアドレス記憶手段に登録されている全ての電子メールアドレス宛に前記画情報の一部を付加した電子メールを送信するものであってもよい。

【0016】上記構成によれば、電子メールアドレス記憶手段に、1つの送信元情報に対して電子メールアドレスを複数登録可能とし、当該登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信するので、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合にも、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対

応を可能として、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

【0017】また、例えば、請求項3に記載するように、前記電子メールアドレス記憶手段は、前記電子メールアドレス毎に複数の前記送信元情報を登録可能であり、前記制御手段は、当該電子メールアドレス記憶手段に前記ファクシミリ受信の送信元情報の登録されている全ての電子メールアドレス宛に前記画情報の一部を付加した電子メールを送信するものであってもよい。

【0018】上記構成によれば、電子メールアドレス記憶手段に、電子メールアドレス毎に、複数の送信元情報を登録可能とし、ファクシミリ受信の送信元情報の登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信するので、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合であって、ユーザの数よりも相手先（送信元）の数の方が多い場合にも、電子メールアドレス記憶手段の記憶容量を少なくすることができるとともに、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態を添付図面に基づいて詳細に説明する。なお、以下に述べる実施の形態は、本発明の好適な実施の形態であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの態様に限られるものではない。

【0020】図1～図3は、本発明のファクシミリ装置の一実施の形態を示す図であり、図1は、本発明のファクシミリ装置の一実施の形態を適用したファクシミリ装置1の回路ブロック図である。

【0021】図1において、ファクシミリ装置1は、CPU（Central Processing Unit）2、ROM（Read Only Memory）3、RAM（Random Access Memory）4、スキャナ5、LAN I/F部6、プロッタ7、表示部8、操作部9及びモデム10等を備えており、各部は、バス1により接続されている。

【0022】ROM3は、ファクシミリ装置1の基本処理プログラム、後述する受信通知処理プログラム等の各種プログラムを格納しているとともに、これらの受信通知処理プログラム及び基本処理プログラム等を実行するのに必要な各種データやシステムデータ等が格納されている。

【0023】RAM（電子メールアドレス記憶手段）4

は、受信文書の画像データや後述するスキャナ5で読み取られた送信文書の画像データを一時記憶するとともに、CPU2のワークメモリとして利用される。また、RAM4は、受信通知関連情報記憶領域を有し、当該受信通知関連情報記憶領域には、電子メールによる受信通知を行うメール通知先の電子メールアドレスと、当該電子メールアドレスに対応させてファクシミリ受信文書の送信元を特定相手先として識別するための特定相手先識別情報（送信元情報）、例えば、当該送信元のRTI/CSI（自己端末識別情報）と、をそれぞれ複数記憶可能となっている。このRAM4の受信通知関連情報記憶領域には、各電子メールアドレス毎に、RTI/CSIを複数登録するようにしてもよいし、各RTI/CSI毎に、複数の電子メールアドレスを登録するようにしてもよい。

【0024】CPU（制御手段）2は、ROM3内のプログラムに基づいてRAM4をワークメモリとして利用して、ファクシミリ装置1の各部を制御し、ファクシミリ装置1としての基本処理を実行するとともに、後述する電子メールによる受信通知処理を実行する。

【0025】スキャナ5は、例えば、CCD（Charge Coupled Device）を利用したラインイメージスキャナ等が用いられており、原稿の画像を所定の解像度で読み取って画像データとして出力する。

【0026】プロッタ7は、例えば、サーマル素子を利用したサーマル記録装置あるいは電子写真式記録装置等が用いられており、受信画像データやスキャナ5で読み取った画像、後述するLAN端末（端末装置）から受信した画像データ及びその他の情報を記録紙に記録出力する。

【0027】表示部8は、例えば、液晶ディスプレイ等が使用されており、後述する操作部9から入力された命令内容やファクシミリ装置1からオペレータに通知する各種情報等が表示される。

【0028】操作部9は、テンキーやスタートキー及びファンクションキー等の各種操作キーを備え、操作キーからは、送信操作等の各種命令が入力操作される。特に、電子メールによりファクシミリ受信があった旨を電子メールにより通知する電子メールアドレスと当該ファクシミリ受信の送信元の識別情報（特定相手先識別情報）が入力操作され、CPU2は、操作部9から入力された電子メールアドレスと特定相手先識別情報とを対応させてRAM4の受信通知関連情報記憶領域に登録する。また、操作部8は、後述する受信通知機能をオン（ON）／オフ（OFF）する受信通知機能オン／オフスイッチが設けられている。

【0029】モデム10は、通信制御部や網制御部等を内蔵し、回線、例えば、公衆電話回線に接続されている。モデム10は、CPU2の制御下で動作して、その通信制御部によるファクシミリ通信手順の実行、その網

制御部による自動発着呼処理を行うとともに、送信信号の変調及び受信信号の復調を行う。

【0030】LAN I/F部6は、LAN (Local Area Network) に接続され、LANを介してLANに接続されたLAN端末、例えば、パーソナルコンピュータやワークステーション等の端末装置との電子メールの交換、特に、電子メールの送信を可能としている。

【0031】次に、本実施の形態の動作を説明する。本実施の形態のファクシミリ装置1は、回線に接続された相手ファクシミリ装置からファクシミリ受信を行った際、当該ファクシミリ受信の送信元が登録された特定相手先であると、登録されている電子メールアドレスにファクシミリ受信があった旨を受信画情報の一部を付加した電子メールにより通知するところに、その特徴がある。

【0032】まず、受信通知先と特定相手先の登録処理について、図2に基づいて説明する。ファクシミリ装置1は、操作部9のファンクションキーにより受信通知先登録モードが指定されると、CPU2が、ファクシミリ装置1の動作モードを受信通知先登録モードに移行し（ステップS1）、受信通知先及び特定相手先の登録処理に必要なガイダンス情報を表示部8に表示させるが、まず、受信通知先として電子メールにより受信通知するLAN端末のユーザの電子メールアドレスの入力を促す旨のガイダンス情報の表示を行う。

【0033】オペレータは、当該表示部8への表示に応じて、電子メールによりファクシミリ受信があった旨をメール通知するLANに接続されたLAN端末のユーザの電子メールアドレスを操作部9から入力操作する。

【0034】CPU2は、受信通知先の電子メールアドレスが入力操作されると、当該入力された電子メールアドレスをRAM4の受信通知関連情報記憶領域に登録し（ステップS2）、当該電子メールアドレス先にファクシミリ受信があった旨を通知するファクシミリ受信の送信元を特定する特定相手先識別情報（RTI/CSI）の入力操作を促す旨のガイダンス情報を表示部8に表示させる。

【0035】オペレータは、当該表示部8への表示に応じて、特定相手先識別情報として、RTI/CSIを操作部9から入力操作する。

【0036】CPU2は、相手先識別情報として、RTI/CSIが入力操作されると、当該入力されたRTI/CSIを、上記電子メールアドレスに対応させて、RAM4の受信通知関連情報記憶領域に登録する（ステップS3）。この相手先識別情報、すなわち、RTI/CSIは、1つの電子メールアドレスに対して、複数登録することができ、CPU2は、1つの電子メールアドレスに対して、複数のRTI/CSIが入力されると、当該入力された複数のRTI/CSIを該当する電子メールアドレスに対応させてRAM4の受信通知関連情報記

憶領域に登録する。

【0037】そして、1つの電子メールアドレスに対する相手先識別情報の入力操作と当該入力された相手先識別情報のRAM4の受信通知関連情報記憶領域への登録処理を完了すると、他に登録する電子メールアドレスがあるか否かを問い合わせる旨のガイダンス情報を表示部8に表示させ、受信通知先をさらに登録する旨の選択操作が行われたか否かチェックする（ステップS4）。

【0038】オペレータが、この他の電子メールアドレスの登録を行うか否かの問い合わせに応じて、他の電子メールアドレスの登録を行う旨のキー操作を操作部8で行うと、CPU2は、ステップS2に戻って、上記同様に処理し、複数の電子メールアドレスの登録と当該電子メールアドレスに対する複数の特定相手先情報の登録処理を行う（ステップS2～ステップS4）。

【0039】上記ステップS4で、他の電子メールアドレスの登録を行わない旨のキー操作が操作部8で行われると、CPU2は、受信通知先登録モード処理を終了する。

【0040】すなわち、この受信通知先登録モード処理により、RAM4の受信通知関連情報記憶領域には、電子メールアドレス毎に、複数のRTI/CSIを登録することができ、また、1つの送信元情報であるRTI/CSIに対して電子メールアドレスを複数登録することができる。

【0041】上記受信通知先登録モード処理で電子メールアドレスと特定相手先情報がRAM4に登録された状態でファクシミリ受信があると、操作部9の受信通知機能オン/オフスイッチの設定状態に応じて受信通知する受信通知処理を行う。以下、この受信通知処理について、図3に基づいて説明する。

【0042】ファクシミリ装置1は、回線からファクシミリ受信があると、CPU2の制御下で、通常のファクシミリ制御手順によりファクシミリ受信を行い、受信画像データを一時RAM4に蓄積する（ステップP1）。CPU2は、このファクシミリ受信処理でモデム10が相手ファクシミリ装置から送信されてくるRTI/CSIを検出すると、当該RTI/CSIをモデム10から受け取って、一時、RAM4に記憶する。

【0043】CPU2は、ファクシミリ受信が完了すると、受信通知機能がオン（ON）に設定されているかチェックし（ステップP2）、オンに設定されていると、受信したRTI/CSIに一致するRTI/CSIがRAM4の受信通知関連情報記憶領域に登録されているかをRAM4の受信通知関連情報記憶領域に記憶されているRTI/CSIについて順次チェックする（ステップP3）。

【0044】ステップP3で、一致するRTI/CSIが登録されていると、CPU2は、電子メールに記載する受信情報、例えば、受信日時、送信相手先名称及び受

信枚数等を作成し(ステップP4)、当該RTI/CSIに対応してRAM4の受信通知関連情報記憶領域に登録されている電子メールアドレス宛の宛先ファイル(電子メールファイル)を作成する(ステップP5)。

【0045】なお、このとき、電子メールに記載する受信情報には、受信した画情報の一部、例えば、先頭ページの半ページ(1/2ページ)分の画情報を付加するようにしてもよく、また、受信画情報の2ページ目の半ページ分の画情報等を付加するようにしてもよい。

【0046】すなわち、ファクシミリ受信では、通常、受信画情報の先頭ページに、通常、ファクシミリ送信の送信元名称や受信者等を記載した送付票が付加されており、2ページ以降がファクシミリ受信の本文の画情報となっている。したがって、電子メールに先頭ページの半ページの画情報を付加すると、送付票の画情報が電子メールに付加されることとなり、RAM4に登録されているRTI/CSIのファクシミリ装置の特定の送信者が誰であるか等の情報を知ることができ、電子メールに2ページ目以降の特定のページの半ページ分の画情報を付加すると、ファクシミリ受信の本文の画情報が電子メールに付加されることとなり、具体的にどのような内容の画情報のファクシミリ受信であるかを知ることができる。

【0047】また、この電子メールに付加する画情報は、受信画情報のどの部分を付加するかが予め設定されていても良いし、操作部9のキー操作によりオペレータが適宜選択できるようになっていてもよい。

【0048】さらに、電子メールに画情報を付加するか否かを操作部9のキー設定により選択可能としてもよい。

【0049】また、電子メールに付加する一部の画情報は、半ページに限るものではなく、1ページ、1/3ページ、あるいは、数ページ等であってもよく、また、付加する画情報の量についても、操作部9から適宜設定可能としてもよい。

【0050】次に、CPU2は、全ての電子メール通知先に対して上記受信情報の作成及び宛先ファイルの作成を完了したかチェックし(ステップS6)、全ての電子メール通知先についてチェックしていないときには、ステップP3に戻って、RAM4の受信通知関連情報記憶領域の次のRTI/CSIが受信したRTI/CSIと一致するかチェックする(ステップP3)。ステップP3で、一致しないときには、CPU2は、ステップP6に移行して、全ての電子メール通知先に対して上記受信情報の作成及び宛先ファイルの作成を完了したかチェックし(ステップS6)、ステップP3で、一致するときには、上記同様に、電子メールに記載する受信情報を作成して、受信画情報の一部を当該電子メールに付加した宛先ファイルを作成する(ステップP4、P5)。

【0051】ステップP6で、全ての電子メールの通知

先についてチェックが完了すると、CPU2は、LAN I/F部6を介して上記作成した宛先ファイルを電子メールにより、上記電子メール通知先の電子メールアドレス宛に送信(通知)し(ステップP7)、上記ファクシミリ受信した受信画情報をプロッタ7により記録紙に記録出力させて、処理を終了する(ステップP8)。

【0052】このように、本実施の形態のファクシミリ装置1は、ファクシミリ受信の送信元を特定する所定の送信元情報とネットワークに接続された端末装置の電子メールアドレスとを対応させて予めRAM4の受信通知関連情報記憶領域に登録し、ファクシミリ受信時、ファクシミリ制御信号からファクシミリ受信の送信元情報であるRTI/CSIを取得して、当該RTI/CSIに対応してRAM4の受信通知関連情報記憶領域に登録されている電子メールアドレス宛にファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信するとともに、当該ファクシミリ受信で受信した画情報の一部を当該電子メールに付加している。

【0053】したがって、ファクシミリ受信があると、当該ファクシミリ受信した画情報を受け取るべきユーザの端末装置に受信画情報の一部を付加したファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信して、どのような内容のファクシミリ受信があったかがユーザに具体的に分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置1の利用性を向上させることができる。

【0054】また、RAM4の受信通知関連情報記憶領域に、1つの送信元情報に対して電子メールアドレスを複数登録可能とし、当該登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信しているので、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合にも、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置1の利用性をより一層向上させることができる。

【0055】さらに、RAM4の受信通知関連情報記憶領域に、電子メールアドレス毎に、複数の送信元情報を登録可能とし、ファクシミリ受信の送信元情報の登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信しているので、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合であって、ユーザの数よりも登録すべき送信元の数の方が多い場合にも、RAM4の記憶容量を少なくすることができるとともに、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ

受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置1の利用性をより一層向上させることができる。

【0056】以上、本発明者によってなされた発明を好適な実施の形態に基づき具体的に説明したが、本発明は上記のものに限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更可能であることはいうまでもない。

【0057】

【発明の効果】請求項1記載の発明のファクシミリ装置によれば、ファクシミリ受信の送信元を特定する所定の送信元情報とネットワークに接続された端末装置の電子メールアドレスとを対応させて予め電子メールアドレス記憶手段に登録し、ファクシミリ受信時、ファクシミリ制御信号からファクシミリ受信の送信元情報を取得して、当該送信元情報に対応して電子メールアドレス記憶手段に登録されている電子メールアドレス宛にファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信するとともに、当該ファクシミリ受信で受信した画情報の一部を当該電子メールに付加するので、ファクシミリ受信があると、当該ファクシミリ受信した画情報を受け取るべきユーザの端末装置に受信画情報の一部を付加したファクシミリ受信があった旨の電子メールを送信して、どのような内容のファクシミリ受信があったかがユーザに分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置の利用性を向上させることができる。

【0058】請求項2記載の発明のファクシミリ装置によれば、電子メールアドレス記憶手段に、1つの送信元情報に対して電子メールアドレスを複数登録可能とし、当該登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信するので、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合にも、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにすることができ、ファク

シミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

【0059】請求項3記載の発明のファクシミリ装置によれば、電子メールアドレス記憶手段に、電子メールアドレス毎に、複数の送信元情報を登録可能とし、ファクシミリ受信の送信元情報の登録されている全ての電子メールアドレス宛に画情報の一部を付加した電子メールを送信するので、特定の相手先からのファクシミリ受信を受け取るべきユーザが複数いる場合であって、ユーザの数よりも相手先（送信元）の数の方が多い場合にも、電子メールアドレス記憶手段の記憶容量を少なくすることができるとともに、当該複数の各ユーザの端末装置にファクシミリ受信があった旨をそのファクシミリ受信の画情報の一部とともに通知して、当該ファクシミリ受信を受け取るべき各ユーザがどのような内容のファクシミリ受信があったかが分かるようにすることができ、ファクシミリ受信に対する速やかな対応を可能として、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のファクシミリ装置の一実施の形態を適用したファクシミリ装置の回路ブロック構成図。

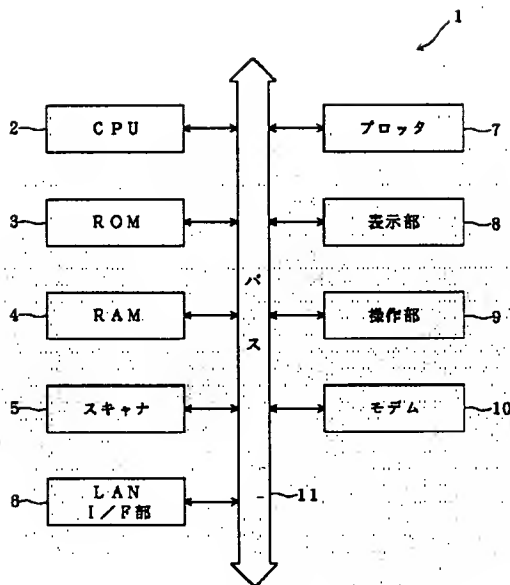
【図2】図1のファクシミリ装置による受信通知先登録モード処理を示すフローチャート。

【図3】図1のファクシミリ装置による受信通知処理を示すフローチャート。

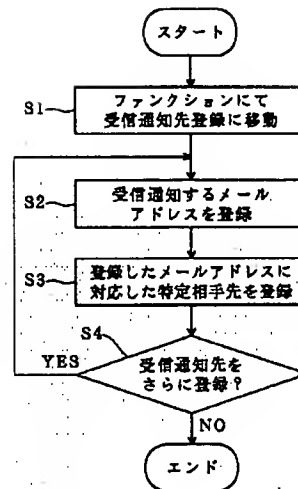
【符号の説明】

- 1 ファクシミリ装置
- 2 CPU
- 3 ROM
- 4 RAM
- 5 スキャナ
- 6 LAN I/F部
- 7 プロッタ
- 8 表示部
- 9 操作部
- 10 モデム
- 11 バス

【図1】



【図2】



【図3】

